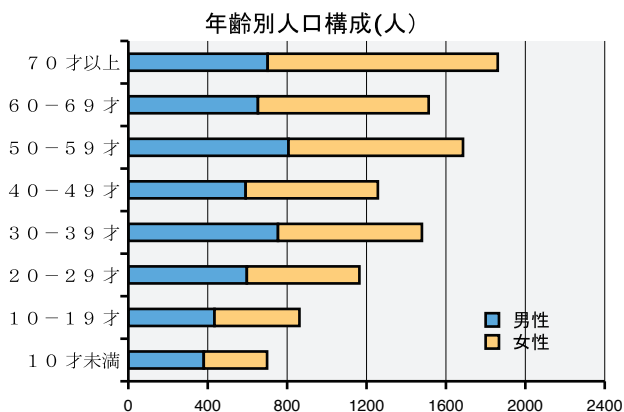


位置図



1 居住者の現況

人口(人)	10,521
世帯数(世帯)	4,861
65歳以上人口(人)	2,590
65歳以上世帯(世帯)	1,125
5歳未満人口(人)	337



2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

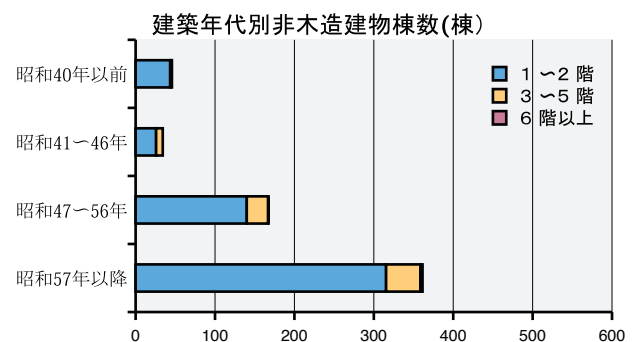
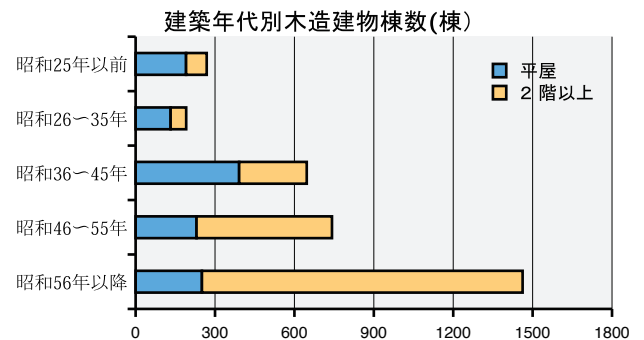
木造建物	3,310
非木造建物	608
合計	3,919

■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

建築年	平屋	2階以上
昭和56年以降	251	1,212
昭和46年～昭和55年	230	512
昭和36年～昭和45年	391	255
昭和26年～昭和35年	132	59
昭和25年以前	191	78

■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

建築年	1～2階	3～5階	6階以上
昭和57年以降	315	43	3
昭和47年～昭和56年	140	27	0
昭和41年～昭和46年	26	8	0
昭和40年以前	44	2	0



自然的・社会的基本指標

旭南小学校区は、旧雄物川、雄物川、旭川、大平川に囲まれた地域であり、地形は平坦で地盤は沖積層が分布している。学校区の西部は主に工業用地となっており、工場が多いのが特徴となっている。1983年日本海中部地震の際には、学校区内で液状化が発生している。人口構成では、65歳以上の高齢者層の割合が25%と秋田市の平均よりもやや高くなっている。2階建て以上の木造建物の占める比率が高い。昭和56年以降の建物は全体の46%である。

3 急傾斜地等の現況

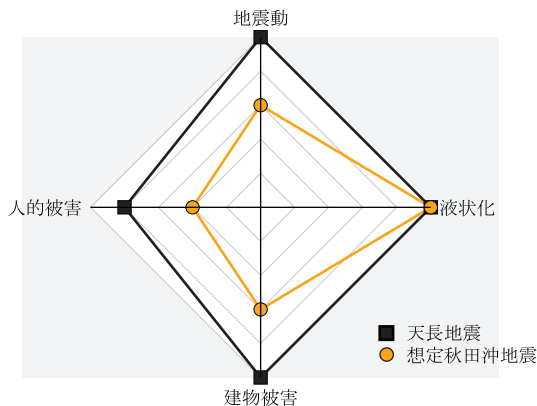
指定種別(箇所数)	箇所名
急傾斜地崩壊危険箇所(0)	該当箇所なし
なだれ危険箇所(0)	該当箇所なし
地すべり危険箇所(0)	該当箇所なし
土石流危険渓流(0)	該当箇所なし

4 地震被害に関する指標(地震被害想定結果)

■ 被害想定結果一覧表

	天長地震	想定秋田沖地震
平均震度	6 強	5 強
液状化危険度	ランク 5	ランク 5
木造建物大破数(棟)	485	57
非木造建物大破数(棟)	50	10
死者数(人)	42	4

被害想定結果レーダーチャート



レーダーチャートの見方

このレーダーチャートは、地震被害想定調査の主要な結果に基づいて、各項目毎に最も危険度が低い場合を1、最も危険度が高い場合を5として点数化してグラフに表したものです。グラフのひし形の内面積が広いほど総合的な地域の危険度が高いことを示しています。

地震時危険要素

天長地震を想定した場合、平均震度は6 強と非常に強い地震動が想定される。液状化する可能性がかなり高い。これに伴い、500棟以上の建物大破被害が発生し、40人以上の死者が発生するものと想定される。

想定秋田沖地震では、平均震度が5 強となり、液状化は天長地震を想定した場合と同様の結果となり、建物の大破被害は60棟程度発生するものと想定される。死者が発生する可能性がある。

津波に対する危険要素

雄物川に面した地区では、最大1 m以上の浸水の恐れがある。

5 防火・防災施設に関する指標

■ 消防関連施設

消火栓数(箇所)	114
防火水槽(箇所)	8
消防車台数(台)	10
消防ポンプ数(台)	1
消防団員数(人)	18

■ 避難所/避難場所

避難所/避難場所	屋内/屋外	収容人員(人)
旭南小学校	屋内	258
茨島体育館	屋内	425
旭南地区コミュニティセンター	屋内	59
旭南小学校グラウンド	屋外	5,700
茨島多目的運動広場	屋外	2,000
秋田モーターズスクール	屋外	9,400

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	秋田消防署
管轄警察署	秋田中央警察署
病院数	7
最寄の救急告示病院	市立秋田総合病院
自主防災組織数	50

■ 学校区内の主要な公共施設

施設名	住所
茨島地区コミュニティセンター	茨島一丁目4-71
旭南地区コミュニティセンター	旭南一丁目15-5
茨島体育館	茨島一丁目4-71

防災上の課題と対策

旭南小学校区は、雄物川と旧雄物川の合流点付近にあり、1983年日本海中部地震では液状化が発生していることから、将来の大地震時にも液状化災害が懸念される。学校区内は、やや軟弱な地盤条件と旧耐震建物が多いことから、地震時の建物被害が懸念されているが、避難所の収容能力は、人口の約6%にとどまっており、避難者を屋内に収容しきれないおそれがある。旧雄物川沿いは工業用地となっており、就業者など非居住者が多数滞留することも考えられることから、非居住者の避難、帰宅方法などについても検討しておくことが望ましい。